地域密着・安心の車買取
クルマ高く売るなら！
ハッピーカーズ
鎌倉店
☎0467-81-4641

3月1日号
2026年(令和8年)
第564号
毎月1日発行
(一部税込み220円)

朝日 鎌倉朝日

朝日新聞の姉妹紙
http://kamakura-asahi.com
©発行所 鎌倉朝日新聞社☎0467-24-8553 FAX 23-1205
〒248-0007 鎌倉市大町2丁目8番13号2-202

お宮参り・七五三の会食は
鎌倉峰木
八幡宮前・小町通り・十二所神社前
本店　電話 0467-22-4431

国史跡「大町釈迦堂口遺跡」初公開

中世のやぐらと平場の遺構

11日まで

国史跡「大町釈迦堂口遺跡」で鎌倉市が行っていた危険木伐採や転落防止柵の設置などの整備が一部完了し、2月26日から一般公開されている。

公開に先立って2月18日、期間中史跡内を案内するガイドを委託された鎌倉ガイド協会会員らが現地を視察し、市の文化財課職員の説明や注意事項を聞いた。

同史跡の指定範囲は鎌倉市南東部にある「名越ケ谷」と呼ばれる谷戸の最奥部に位置している平場と、その周辺の山稜部。

見学は、入り口から北側の平場と呼ばれる開けた広場に入り、奥の幅広の石段を注意しながら上ると唐糸やぐらと地蔵やぐらの2基の大型やぐらに出る。さらに進むと途中、崖と崖の間の高い所に赤い橋が渡されているのが見える。「橋の下にはいかないように」と注意を受けながら、その脇道をさらに進み、道の両側に崩落防止柵が設置されている場所にくると、「今トンネルの上にいます」と説明がある。トンネルとは釈迦堂切通のこと。崩落対策で、立っている場所の下約10mの位置に掘り下げて、22mのくいを15本渡し、トンネルの内側にも金網を張りモルタルの吹きつけなどを行ったという。現在トンネルは通り抜けできないため、浄明寺側からの入場はできない。

見学の終点は日月やぐらで、小規模なやぐらが7基並んでいる。やぐらの壁に掘られた円形の龕の形が太陽と月に見えることから名づけられたという。

市は2008年に発掘調査を行い、鎌倉時代後期～室町時代にあたる14世紀頃の掘立柱建物や礎石建物、火葬の跡などを発見した。谷戸を切り開いた平場とやぐらが一体となった希少な場所で、中世鎌倉の開発と信仰の在り方を知るうえで重要な遺跡として10年に国史跡に指定された。

市としての公開は初めてで、公開の結果を踏まえて今後の公開を検討するという。

公開は3月11日まで、10時～16時。1日4回ガイドツアーも。申込不要。問い合わせ市文化財課☎0467・23・3000

大町釈迦堂口遺跡　北側の平場

日月やぐら

11月から補修補強工事

葉山御用邸近くの臨御橋

葉山御用邸近くの一色海岸と大浜海岸の間を流れる下山川河口に架かる「臨御橋」は「赤橋」とも呼ばれ、二つの砂浜をつなぐ海のシンボルとして地域住民や観光客に親しまれてきた。

50年以上前に木製の橋から建て替えられたコンクリート橋は老朽化が進み、改修工事に向けて2019年から開始したふるさと納税「臨御橋架け替えプロジェクト」の寄付金による資金調達が再建の鍵となっていたが、25年12月末までに町内外から約2億9千万円が集まり、町は26年度からの着工を目指して準備に入った。約3年を工事期間とし、26年度の事業費予算は1億3千6百万円。出水期の10月までは準備工事、11月から翌年5月までの渇水期を1期目として橋脚の工事が予定されている。2期目の工事は27年11月から翌年5月で高欄や床板などの補修を行う。

これまで劣化した欄干などを木枠で保護して通行できるようにしていたが、休工中の時期を除いて通行止めとなる。

プロジェクトの呼びかけで橋にまつわるエピソードも集まり、戦後に架けられた昭和30年頃の木製の橋の写真や、幼い頃に橋のたもとでウナギを釣った家族の思い出、「元号は変わっても平和の象徴として輝き続けてほしい」などのメッセージも。元の橋のイメージを守る再生を目指してきた産業振興課は「これからも変わらず親しんでもらえる葉山の海の象徴として臨御橋を次世代に残したい」と準備を進める。

寄付は今月末まで受付。HPの同プロジェクトから申し込める。

現在の臨御橋の様子

鎌倉木樹めぐり ㉒

大船フラワーセンターの玉縄桜

文　小林 千穂
写真　松原 省吾

大船フラワーセンターの玉縄ザクラが見ごろを迎え、2月28日・3月1日は夜桜ライトアップが行われている。19時半まで。

このサクラは、同センターで生まれた早咲きのサクラで、気温の低い時期に開花するので、開花期が長く1カ月ほど楽しめる。

1969(昭和44)年に同センターでソメイヨシノの種子をまいて育った苗から発芽が半月ほど早い株があることを発見し、育成。1974年、初めて開花、花はソメイヨシノに似、開花が20日ほど早いことを確認し、挿し木や接木で繁殖を開始した。1989年、農林水産省に種苗登録出願、1990年に品種登録された。品種名は、同センター近くの「玉縄城址」に因み、「玉縄」を「桜」に冠した。苗木を育苗し、市内の寺社や学校、公園、各施設などに植樹活動をし、名前を広める広報活動に市民団体「玉縄桜をひろめる会」(2006年～17年)が貢献した。

センターの入り口や玉縄桜広場に大小あわせて約20本が開花し、原木はシャクナゲ園の近くにある。

玉縄城址を巡るツアー

海城サミットの一環で

「海城サミット2026 in Chiba」の特別企画「江戸湾を挟んだ戦国時代」として「北条水軍の城 玉縄城ウォーキングツアー」が2月7日、玉縄城址で行われ、40人ほどが参加した＝写真。千葉城郭保存活用会の主催で、玉縄城址まちづくり会議が共催。

同保存活用会によると、かつて江戸湾は「内海」と呼ばれ、戦国期には里見水軍と北条水軍の間でその制海権を巡る激しい戦いが繰り返されたため、内房の沿岸には、湊を守るための海城が多く築かれた。千葉県の内房線沿線には近世期に異国船への海防の目的で築かれた陣屋をはじめ、この地域の海を守るための城郭が多く遺構として現存するという。

海城の魅力を伝えようと3年前から開かれているサミットで、7日は、玉縄城址まちづくり会議副理事長の大竹正芳さんの案内で、清泉女学院校門前から、蹴鞠場、月見窓下、三角平場、諏訪壇、植木市民緑地、七曲坂を経て大手門跡、龍寶寺まで非公開の場所も含めて地図を手に歩いた。時折、小雪が舞う中、参加者たちは熱心に解説に耳を傾け、古に思いを馳せた。大竹さんは、「玉縄城をみんなに知ってもらってよかった」と話していた。午後から講演会も開かれた。

鎌倉の年中行事 3月

▼湘南江の島春まつり 14・15日江の島・片瀬海岸。(2面にご案内)
▼祈年祭 15日11時、亀岡八幡宮(逗子)。五穀豊穣、商売繁盛を祈願。
▼彼岸会 17～23日冬寺。
▼宇佐神宮遙拝式 18日10時、鶴岡八幡宮。
▼祖霊社春季例祭 20日10時、鶴岡八幡宮。

プロムナード

網をかけ、カラスに荒らされたら(ゴミ当番が)片付けて、雨の日は濡れた段ボールを抱えて帰る▼このような小さな〝共同作業〟が、鎌倉の路地には長く続いています▼観光の賑わいの裏で、暮らす人たちが路地を守ってきたのです▼今年4月から燃やすゴミは全戸で個別収集になります▼ゴミは道路上ではなく、自宅敷地内の、道路に面した場所へ出す▼蓋の閉まる容器を用意して各家庭で、猫や鳥にも対処できるようになる▼ゴミ出しの距離が短くなるだけでなく、地域で抱える様々な負担が減るかもしれません▼しかし、ゴミステーションで近所の人と交わす挨拶が減って、地域社会が希薄になってしまうのではないかと寂しい気持ちもあります。(N)

鎌倉名産
梅花はんぺん
井上蒲鉾店
http://www.inouekamaboko.co.jp/

好評販売中
花咲く街 古都鎌倉

株式会社 大森商店
o.m.s.souvenir.works
☎0467-22-2626
http://www.e-omori.com/

由比ガ浜通りのレンタルスペース

鎌倉カルチャールーム

多用途の教室、会議室、練習室

鎌倉駅から徒歩約7分、由比ガ浜通り六地蔵そば村田ビルの2階と3階のフリースペースです。

広さは各室とも90㎡。

3階は幅2m鏡と大きな窓に囲まれた明るい部屋で床絨毯、ピアノ、イーゼル、椅子机、ロッカー完備。音楽系や美術系の教室、会議室、集会室としての利用や運動も可能なスペースです。

2階は全面鏡、床はリノリューム、バレエを始め身体表現のレッスン場で好評です。

両階とも年間契約が優先ですが、9時～22時の間で原則2時間以上使用の単発使用も常時受付中です。

有料駐車場、駐輪場も完備。

お問い合わせはお気軽に☎090・2207・0031
http://freespace-kamakura.jimdofree.com

鏡とピアノ3階スペース